



NOZAWA news

やすらぎと安心の創造

株式会社ノザワ
<http://www.nozawa-kobe.co.jp>

Vol. **14**
2009 — July
平成21年7月発行



アスロック 施工レポート

「これからの集合住宅」 “BUILDING K”

東京都内の駅近くの商店街に位置する共同住宅と店舗から成るこの複合ビルは、設計当初から意匠・構造・設備がコラボレートした、今までに無い建物です。全景はRC造ビル風ですが、5階部分は戸建住宅が立ち並ぶような光景で、これらの意匠にアスロックナチュリアルが貢献しています。

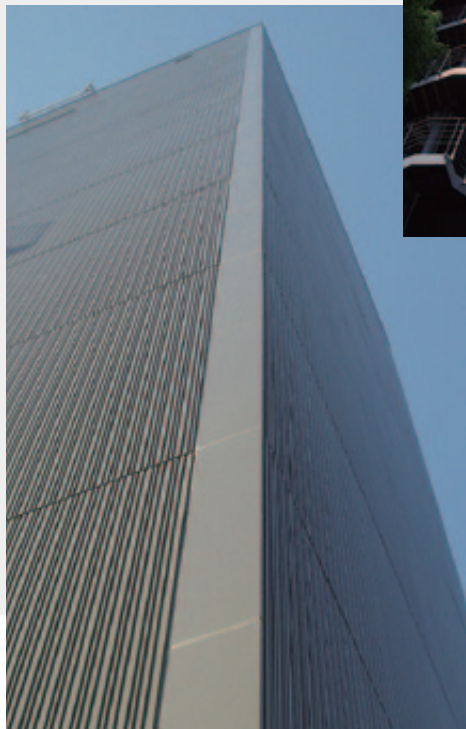
- 所在地：東京都杉並区
- 設計：藤村龍至建築設計事務所
＋オーノ JAPAN
- 施工：丸善建設工業
- 外壁：「アスロック 500」60mm 厚
ナチュリアル



新建築写真部（上、右下写真）

新デザインパネル「プライムライン」採用の建物が同時竣工

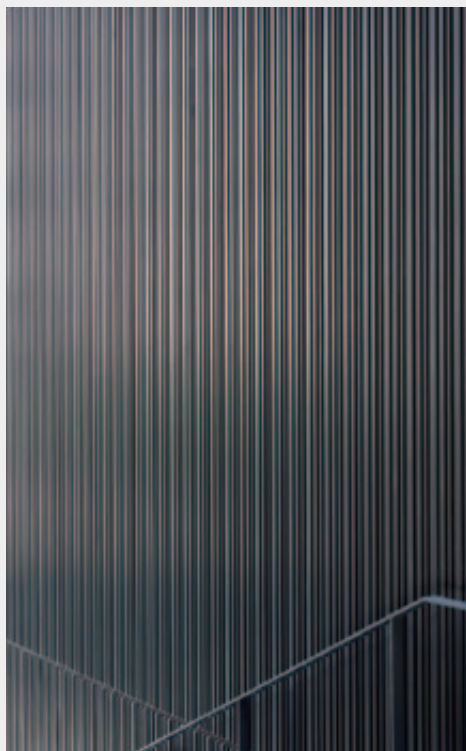
■ 大宮プライムイースト



所在地：埼玉県大宮市
設計：KAJIMA DESIGN
施工：鹿島建設
外壁：プライムライン
（カラーフロン）
PHOTO：阿野太一
（右写真）



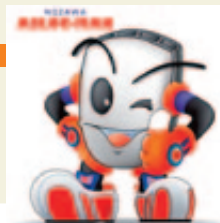
■ 東京建物 ファーレ立川ビル



所在地：東京都立川市
設計：KAJIMA DESIGN
施工：鹿島建設
外壁：プライムライン、アスロック 900、他
（現場塗装）
PHOTO：阿野太一（左、下写真）

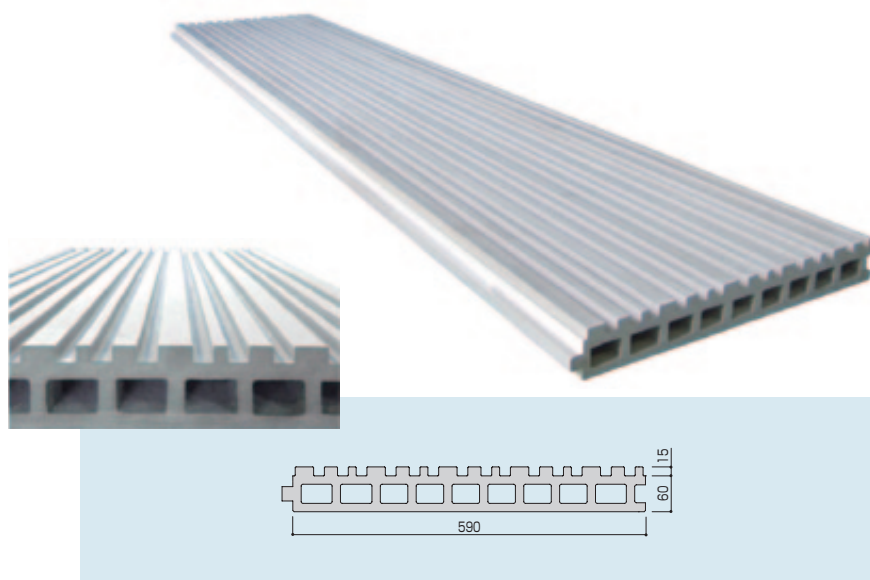


NEW DESIGN PANEL “PRIME LINE”



新デザインパネル「プライムライン」について

「プライムライン」は、現在までに多数発売してきたデザインパネルとは全く異なるコンセプトのパネルです。従来までのデザインパネルは、規則性のある等間隔の同幅意匠（リブ）が多く連続意匠でしたが、プライムラインは意匠を不連続に見せるデザインにしています。リブ幅を変える事によりランダム（不連続）に見え、かつリブ谷間隔を同じにする事により、リブの影の落ち方が等しくなり、壁面全体では統一感を感じるようなデザインにしています。また、リブ幅は、「素数」と言う数字に着目し、3:5:7の素数（prime number）比を採用しました。



均質で不均質な表情の実現

KAJIMA DESIGN

プリンシパルアーキテクト 北 典 夫
チーフアーキテクト 土田 耕太郎

設計当初、カーテンウォールとともに外壁を構成する素材として、アスロックの採用を意図しました。通常は、目地と等幅のリズムを持ったリブデザインを採用することが多いのですが、完全な均質を目指す為に僅かな誤差が気になり、水平目地部分に金物を入れたりする結果、コストアップや止水性能の低下を招く恐れがありました。

プライムラインでは、幅 600mm という固有のモジュールに素数比を導入することで、方向性を有した非対称なリズムが実現し、連続することで均質だけではなく流れのある表情が実現しています。また、上下で方向を逆転させることで秩序のあるずれが生じ、均質な中に変化のある多様な表情が感じられます。

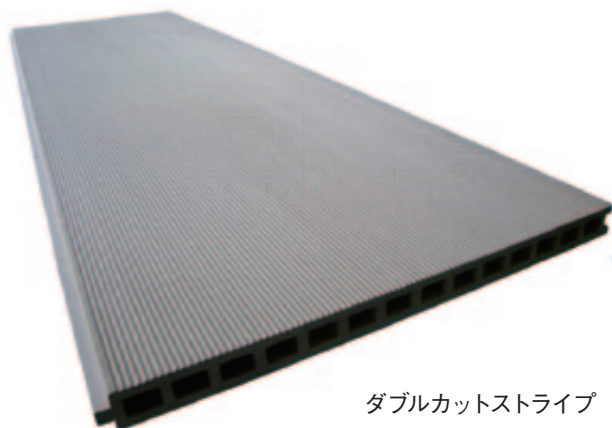
リブ端部の形状や角度、ディテールまでをノザワさんと協働した結果、リブを付け加えたのではなく、溝を切ったような硬質で深みのある表情が実現しています。

好評発売中

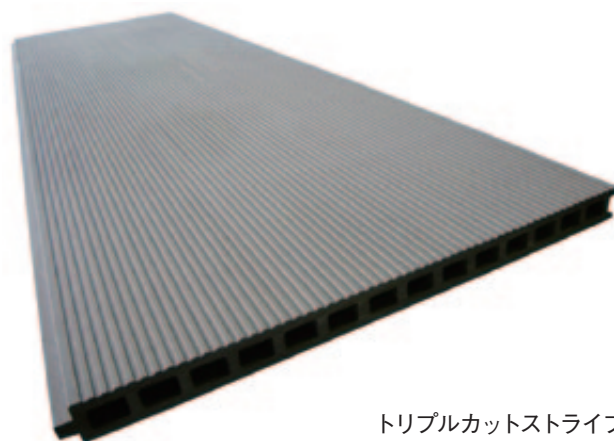
「ダブルカットストライプ」 「トリプルカットストライプ」

600mm 幅・900mm 幅 同時発売

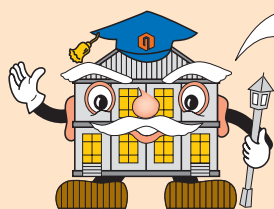
「ダブルカットストライプ」と「トリプルカットストライプ」は、コストと意匠性にこだわったデザインパネルです。リブの高さを 2mm と低くする事で、ローコスト化を実現しました。意匠的には、近くからは「しっかりとしたシャープなテクスチャー」を表現し、遠くからは「フラットに近い自然な仕上り」を表現します。また、デザインパネルとしては初めて、600mm 幅と 900mm 幅を同時にラインナップする事で、シャープなテクスチャーに 900mm 幅のダイナミックな壁面構成を実現します。



ダブルカットストライプ



トリプルカットストライプ



難問以外は即日ご返答させていただきます。
これからも当社製品・工法に関するお問合せは、
お気軽にカスタマーズ・サポート・センターにお寄せください。
support@nozawa-kobe.co.jp

異人館博士の Q&A

Q20. 近年現場では環境配慮の観点から水系塗料が主流になっていますが、カラーフロンは環境に影響ないのですか。

A20. カラーフロンは、溶剤を使用した塗料を使用していますが、カラーフロン塗装は当社専用工場で行っており、1993（H5）年の操業開始当時から、環境を配慮した塗装ラインを構えています。

塗料とは、樹脂・硬化剤・顔料・添加剤・溶剤の混合物です。樹脂・硬化剤・顔料・添加剤は、塗膜を形成する成分です。溶剤は、樹脂・硬化剤を溶かして均一な膜にする成分で、塗装時に蒸発して放散し、塗膜成分にはなりません。近年、現場塗装で良く使われている水性塗料は、溶剤を水に置き換えた塗料です。水性塗料は、揮発性有機化合物（VOC）排出量低減と、現場周辺への環境配慮の目的で使用されています。ただ、多くの水性塗料は塗装作業性や成膜性向上のために、塗料中に少量の有機溶剤を併用することが一般的です。

一方、カラーフロン塗装ラインは、ロボットによる塗装～焼付乾燥～クーリングシステムによる表面温度調整の工程を繰り返し行いますが、この塗装ラインには乾燥時に発生するシンナーを集めて燃焼させるブローバイガス燃焼装置を装備しています。この工程で発生した熱を再利用するとともに、排気をクリーンにすることで、周辺環境への影響を極力少なくするためのシステムです。このシステムを導入している塗装工場は少なく、工場見学された方々はシンナー臭がしないことで驚かれています。ただ、当社では溶剤系塗料に固守している訳ではなく、耐久性が確保されることを前提に、水性塗料も採用を検討して行きます。近年発売したルミセラコートは、水性塗料を使用しています。

NOZAWA Information

「NOZAWA news」の Web版への変更のお知らせ

長らくご愛読いただきました「NOZAWA news」は、次号よりノザワホームページ上で公開いたします。引き続きご愛読くださるよう、お願いします。

<http://www.nozawa-kobe.co.jp>



神戸あれこれ (編集後記に代えて)

旧神戸居留地十五番館

◇第十四話「国道174号線の今昔」

神戸には、長さがなんと187.1mしかない国道が存在します。「国道」と聞くと道路だけと思われがちですが、定期フェリーの海道も国が認めれば立派な国道です。それで、四国へ国道をつなぐために、国道2号線から神戸港までを結ぶ港国道が誕生したわけです。もっとも、最初からこんなに短かった訳ではなく、以前は三宮駅前を東西に通る旧西国街道に沿った道が国道2号線で、百貨店がある三宮交差点から神戸税関までが174号線でしたが、国道2号線のルート変更に伴い、三宮交差点から税関前交差点までは県道に移管してフラワーロードと呼ばれるようになり、残った税関前交差点から税関本庁前が国道174号線になったわけです。

全国に国道は459路線あるようですが、この国道174号線は全長を徒歩で制覇できる珍しい国道として、神戸まつりや神戸ルミナリエの観光のついでに見学される方もお見えます。この国道、ホントに短く目に付きにくいので、見学の際には見落とさないようご注意ください。

今回は、お待たせ「コーベビーの誕生秘話」です。



国道174号線（イラスト：中井 繁）